

2013年12月2日

文部科学省「学事暦の多様化とギャップタームに関する検討会議(第2回)」用資料

「諸外国におけるギャップイヤー状況」

～ギャップイヤーは、日本のこれからのグローバル・リーダーシップに深く関与し、グローバル人材と社会的課題解決型人材の創出に資する～

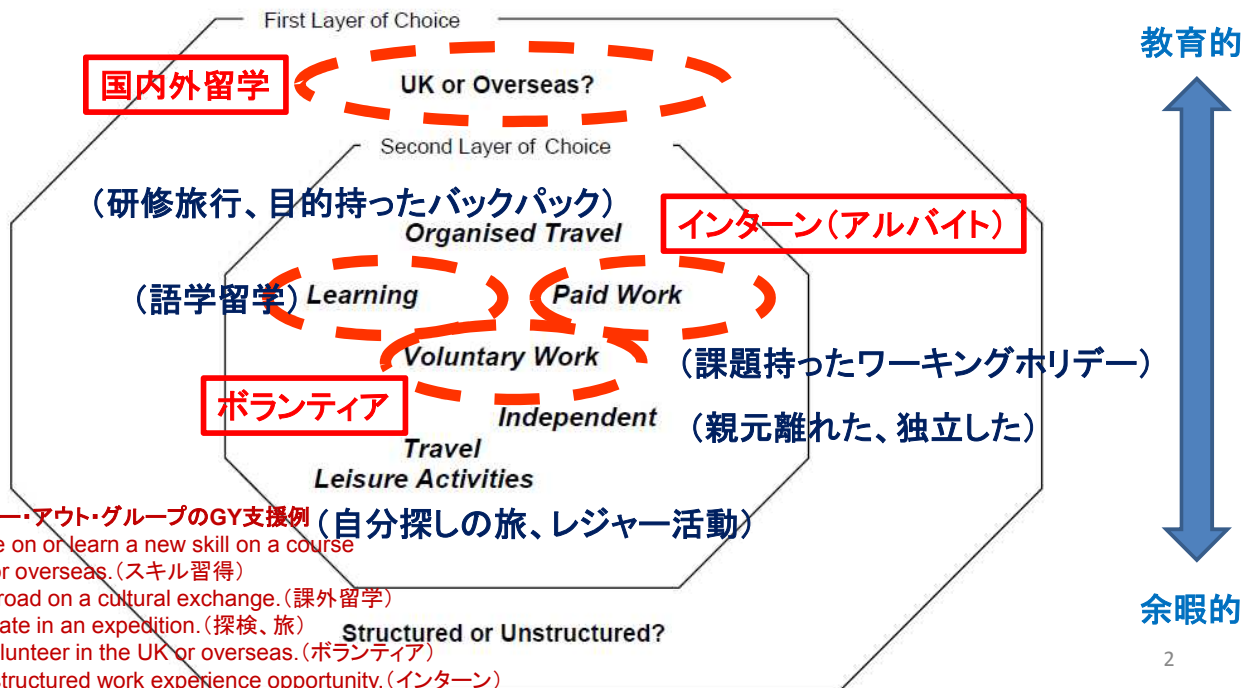
砂田薫(日本ギャップイヤー推進機構協会[JGAP]代表理事、お茶の水女子大学特任講師)

2004年ロンドン大学Andrew Jones教授の
英国・教育技能省受託研究「ギャップイヤーの概念図」



「ギャップイヤー」の定義は、親元・教員から離れた非日常下での「インターン・ボランティア・国内外留学(課外)」(期間3-24ヶ月)

Model of Choice in Gap Year Activities



オーストラリアの事例②



高卒後ギャップイヤーは、大学での成績向上に直結

シドニー大学アンドレー・マーティン教授

904人の高校卒業生の学業成績と大学延期(ギャップイヤー)の有無を追跡調査
入学後4学期間(2年)の芸術、社会科学、科学分野専攻の学生の成績を調査



- ・建設的なギャップイヤーは学生のスキル獲得と好成績に資する
- ・修学意欲を削がない
- ・ギャップイヤーの効果
 - ①意思決定が明確に
 - ②自己開発・自己統制のスキルを開発
 - ③コンピテンシーを拡張
 - ④自己秩序
 - ⑤自信

出所: 2013年9月18日<http://theconversation.com/study-links-a-gap-year-to-better-university-grades-18275>

オーストラリアの事例③

「ギャップイヤー経験者が10年で倍増し、しかも非経験者より就学力が高い！」(国立教育機関調査等)

高校生を持つ両親の心配

大事な子どもが高校卒業後、大学入学までの期間(例えば1年)にギャップイヤーを取ると、興味を失い大学に戻らず、その後迎える人生において、低賃金で行き詰まりを迎えると懸念してしまいがち

国立職業教育研究センター(NCVER)の調査

- ・高卒後大学入学前のギャップイヤー生は、ほとんど大学に入学し、非経験学生より修学に関心を持つ。

- ・ギャップイヤーを経験する若者が2000年から2010年の間で倍増し、20%に

・ギャップイヤーの中身

就業体験関連(インターンシップやアルバイト)	40%
社会体験関連(課外の留学・研究や何らかの訓練)	33%
主活動が旅という学生	わずか3%

→ 多くの若者は、堅実で費用はかからない選択

アメリカの事例①

大学のギャップイヤー制度に対する考え方、話題

ノースカロライナ大学チャペルヒル校

国際的なギャップイヤー・プログラムを開始するために150万ドル(1億5千万円)の寄付。

ニューヨーク大学(NYU)

新入生は全員入学延期、すなわち、ギャップイヤーが取得出来る機会が与えられる。

プリンストン大学

ブラジル、中国、インド、ペルー、セネガルでの独自のギャップイヤー・プログラム(計35人)を用意。教室外で高等教育を受ける機会(higher education outside the classroom.)としての“ブリッジイヤー”という運動が普及。

ハーバード大

大学生によるギャップイヤー支援団体も誕生。

ニューヨークの都心型大学ラング・カレッジ

1年のギャップイヤー・プログラム参加で、翌年2年生になるコースが昨年から出現。

ミドルベリーカレッジ

ギャップイヤーを取った学生は、良い成績を取る傾向にあり、今後の人生をどうしていきたいか目的意識を持っているという調査結果。

出所: 米国「グローバル・シチズン・イヤー」のウェブサイト ⁷

アメリカの事例②



「大学在学中・卒業後のギャップイヤーに充実の奨学金」

国際教育交流協議会(The Council on International Education Exchange)

多様なギャップイヤープログラムを提供、特定の分野の専攻学生に対する奨学金もある。“海外教育基金(Fund for Education Abroad)”では留学して単位取得をする学生に奨学金を提供している。上限1万ドル。

リブファンド基金(LIVFund.org)

1年間中南米で学習、インターンやボランティアをしたい学生を支援。毎月2人に500ドルの奨学金。

モザイク奨学金プログラム(the Mosaic Grants Program)

イスラム圏に属する国で過ごすのを実現するために500ドルから1000ドル(10万円以内)が支給。

若者プログラム(the National Security Language Initiative for Youth program)

高校生や卒業したばかりの高校卒業生がアラビア語、ロシア語、ペルシャ語、中国語、トルコ語、ヒンドゥー語、韓国語などのあまり一般的でない語学を学びに留学するための費用が支払われる。

ブラウア青年奨学金(Brower Youth Awards)

アース・アイランド機構(Earth Island Institute)の活動の一部で、直面している環境問題に対してリーダーシップを発揮する若者を応援する。選考を通過した場合には3000ドル(約30万円)が支払われ、カリフォルニアで開催される環境問題リーダーシップ週間のイベントに参加する機会も与えられる。

助成財団センター(The Foundation Center)

公立図書館と連携し、何か活動するための資金援助を求めている人のために地域の財政支援のデータベースを用意

出所: US News10月24日付 ⁸

アメリカの事例③

City Yearという“教員補助”のギャップイヤー制度

City Year

全米国内の25の学校に17～24歳の若者を派遣し、低所得層の多い地域での中退率を下げるために活発に活動している団体

ニューヨークのイースト・ハーレムにあるマンモス校に派遣されると、多様な人種で、学力格差を目の当たりにするだろう。数学と理科の教師としてフルタイムで働いて、年間12,100ドル(約120万円)の給料(お金のためだけなら、他のバイトや仕事のほうがよい)

1年間フルに、小学校や中学校を中心に、子供たちのリーダーとして週に50～60時間も働く。研修の始まる9月には、学校の清掃、整備や、技術育成を織り交ぜた1ヶ月間の実践的なトレーニングを受ける。多くのギャップイヤー生は「自分たちを必要としている」と感じる。

9

アメリカの事例④

ギャップイヤー協会 (AGA)

親はギャップイヤー生の状況把握を完全にしたい。しかし、これは残念なことで、1年間完全にプログラム化された指導者主導のものでは、何かを失うことになる。親は子供が評判のよいギャップイヤー・プログラムに従事してほしいと考える。



プログラムの評価認証のアメリカ・ギャップイヤー協会
安全性など54ページにわたる基準

認証と標準化に注力。米国司法省認可(承認)とは市民権や共生プログラムに関連から?



イギリスの事例①

親の心配

- 事業責任者は誰？
- 我が子は、どんな活動をしているか？
- 我が子は、どんな助言や訓練を受けているか？
- 何がリスクでどうに最小化してるか？
- 事故対応は？
- 他者として、誰が監督しているか
- 従業員や職員は有能で経験豊富か？



英国ではギャップイヤー・プログラムは商品であり、消費者としての保護、安心に寄与する標準化や認証が必要との発想があり、**British Standard BS 8848**が2007年に成立

11

http://www.rgs.org/NR/rdonlyres/F88634DF-60CF-4867-97BE-A030E3354DA8/0/BS8848parentsguide4pplow_res.pdf

イギリスの事例②



英国でのギャップイヤー認証

Home What's new Follow us » Search Contact Us

Sign in / Register

You are here: Home » Our work » Fieldwork & expeditions »

About us Our work What's on Geography today Press & Media Networks Join us

Royal Geographical Society with IBG

Advancing geography and geographical learning

Fieldwork & expeditions training and advice from Geography Outdoors
Expeditions database & reports »
GO seminars and workshops »
International Leadership & Capacity Building »
Joining an expedition »
Plan your own expedition
Special advice units »
Resources »
World register of field centres »
BS8848 British Standard
Funding an Expedition
Special Advice Units

BS 8848 British Standard

The British Standard for overseas expeditions and fieldwork. BS 8848: a specification for the provision of visits, fieldwork, expeditions, and adventurous activities outside the UK was first published in April 2007.

The RGS-IBG was among the organisations on the BSI technical committee that drafted the standard.

BS 8848 is now being revised and comments from industry, consumers and organizers of ventures are being invited. The public consultation period will close at the end of September, with publication of the revised standard expect in spring 2014.

Have your say [here](http://drafts.bsigroup.com/Home/Details/51298).
<http://drafts.bsigroup.com/Home/Details/51298>

What is it for?

The standard aims to reduce risk from injury or illness and provides those that comply with the standard with a way of being able to demonstrate that they are following good practice to manage the venture safely.

BS 8848 specifies operational requirements for organisers of adventurous and educational activities abroad including university and academic fieldwork, gap year experiences, adventure holidays, charity challenges and research expeditions.

The standard is [available to purchase](#), or to view a copy of BS 8848, contact your local public library.



Internet links

- Buy a copy of the standard
- Public consultation on Revised BS 8848

Documents

- Information about standards and BS8848
- BSI Parents Guide to BS8848
- GEES BS8848 Brief PDF
- Proposed changes to BS 8848 (2009) PDF

Send email to

- Geography Outdoors

Accessibility statement
Terms and Conditions, and Cookie use
Contact Webmaster
Download Adobe Reader
RGS-IBG is not responsible for the content of external internet sites

SHARE

イギリスの事例③

英国のギャップイヤーの支援機関 NPO イヤー・アウト・グループ(主要35団体の会員で構成する協会)

The screenshot shows the homepage of the Year Out Group website. The header includes the logo and navigation links: Home, Benefits of Gapping, Planning a Gap Year, Why YOG?, News & Events, Blog, Parents & Advisers, and Contacts. A search bar is located below the navigation. The main content area features a large article titled "The Leading Gap Year Organisations" with a photo of a young woman. To the right, there are several sidebar widgets: "Insurance Advice", "Health Advice", "Membership Benefits: Find out more", "FCO TRAVEL ADVICE know before you go fco.gov.uk/travel", "theTravel Foundation caring for places we love to visit", "As featured on TIMESONLINE Best Travel websites 2009", and "Find us on Facebook". Below the main article, there is a section titled "Why choose YOG?" with a list of bullet points and a "Year Out Group Videos" section with a photo of a group of people.

イギリスの事例④

大学入試担当官も企業も“組織化され、よく練られたギャップイヤー”を好意的に観ている。

The screenshot shows an article page on the Year Out Group website. The article is titled "What universities say" and is highlighted with a red dashed circle. The article text discusses university admission tutors and employers' views on gap years, noting that they look favourably on a year out if it is organised and well-structured. A photo of a man in a white shirt and tie is shown next to the text. The sidebar on the right contains the same widgets as the homepage screenshot. The article is attributed to "This article in The Guardian by a higher education advisers points out some of the benefits of taking a gap year before going up to university."

イギリスの事例⑤

ギャップイヤー生が産業界での1年インターン・プログラム「Year In Industry (YINI)」の価値を語る

- ・英国には、高校卒業後、大学入学前の1年を利用した産業界でのインターンをテーマとしたプログラム「Year In Industry(以下YINI)※直訳すると、「産業界で1年」がある。
- ・1年間に毎年750人ものギャップイヤー生(gap year student、ここでは、大学入学前の高卒者の意味)が大々的に本格的インターンを行う。業種は、工学系、科学系、技術系、IT、eコマース、一般営業会社など英国トップ300社に現れるような企業で、ロレアルやシエル、ブリティッシュ・エネルギーなども含まれる。
- ・非営利組織であるEDTが主催するYINIプログラムの参加者約500人のうち、今年は9人がYINI賞に推薦された。仕事を通して最も大きくビジネスに貢献した学生に与えられる。
- ・英国中の会社から学生にぴったり合う会社が選ばれ、学校の年度に合わせて、基本的に9~12ヶ月の間企業に配属される。
- ・このプログラムは、工学部と理学部に翌年進学するギャップイヤー生に特に人気である。
- ・97%の学生がYINIに参加すると将来就業力が向上し、CV(履歴書)もアピールできると言われている。

15

イギリスの事例⑥

英国で、ギャップイヤー社会起業のYear Hereが誕生！
国内の社会的課題にチャレンジしてもらおうプログラム
「京都版ギャップイヤー」と同根。



中国の事例

インサイト・チャイナが中国での“流行語”として、ギャップイヤー(間隔年: jian ge nian)を報道

- ・ギャップイヤーを「自動的に社会に出るのではなく、ある期間自分がしたいことをして、体験を通して自分自身の理解を深め、生きる力を学び、生活を体験し、成熟すること」と説明。
- ・大卒の就職率が極端にふるわない中国では、好むと好まざるに関わらず、本格的な社会体験・就業体験を意味するギャップイヤーは一つのキャリアとして位置付けられつつあると解釈できる。
- ・最も良く見られるギャップイヤー(中国語:間隔年)は大学卒業と就職の間の期間。
- ・ボランティアやアルバイトと一緒に旅を続ける“ギャップイヤー仲間”を探すサイトが登場。
- ・北京や上海では、6割以上の若いサラリーマンは過労で、ストレス発散に9割以上が「自然豊かなところへ旅行」を選んでいることと、この「ギャップイヤー人気」が関係あるのではと考察している。
- ・ギャップイヤーには新しい体験を積むというだけではなく、外から自分の国を見つめなおすと言う側面もある
- ・ギャップイヤーにチャレンジするには、勇気やチャレンジ精神のほか、体力や物質面の準備、困難への覚悟などが欠かせない。

10月11日付のインサイト・チャイナより

17

韓国事例①

大統領府付きのアドバイザー達がギャップイヤー・プログラムを運営する社会起業を設立

Korea Gapyear

2,506

좋아하기

공유하기

로그인

회원가입

마이페이지

GAP YEAR

갭 프로그램

갭이어 캠프

GAP'Story

고객센터

韓國の事例①

한국기업이여가 여러분의 꿈을 응원합니다!

기부 프로그램

인기 프로그램

마감임박 프로그램

18

韓国の事例②

サムソンは「地域専門家制度」(1年間の企業版ギャップイヤー・プログラム)を1990年から始め、既に4000人が途上国に派遣し、インドで横流し防止として機能するカギ付冷蔵庫など、新商品を創出している。

現在のページ: ホーム: 企業情報: サムスングループ: 人材第一: 人材第一

人材第一

人材育成の哲学 人材開発院の紹介 **地域専門家** テクノMBA制度

サムスンでは1990年から、「地域専門家制度」を導入しました。真の国際化を目指し、社員に海外の文化や習慣を習熟させて、その国の「プロ」となる人材を育てる目的で開始した制度です。入社3年以上、課長代理クラスの社員が対象で、毎年数百人を選抜、アジア、欧米、中東、ロシアと世界各国に派遣されます。これまでに約4,000人が世界各国に派遣されました。

地域専門家は派遣先の国に1年間滞在しますが、仕事の義務はありません。その国の言語や文化を学ぶため、自主的に計画を立て、実行します。期間中の給料は支給されませんが、家探しから日々の生活、語学学習、人脈作りなど一切会社を頼らず、自力で乗り切らなければなりません。

サムスンにとって国際化とは、現地社会に溶け込み共生すること。地域専門家は派遣先の国で「道案内人」となります。中東やインドなどの異文化圏での事業展開に、地域専門家の経験が大きな役割を果たしています。